

職員紹介



令和3年2月以降に、異動・入社した介護職員4名です。「地域密着型らしく、アットホームで心温まる介護を提供していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。」

運営推進会議報告

- 開催日時 令和3年5月13日
- 内容
 - 1、施設事業報告
(利用状況、事故報告、活動内容、申請状況等)
新型コロナウイルス感染症状況報告
 - 2、協議事項
 - ①新年度の委員委託状交付、委員紹介
 - ②新年度の事業内容や運営について
 - 3、各参加者からのご意見
- ~次回開催予定日 2021年7月1日

【令和3年度 運営推進会議委員紹介】

- ・施設入居者 3名
- ・入居者家族代表 1名
本田嘉紀様
- ・会津美里町役場健康ふくし課 1名
谷澤貞倫様
- ・会津美里町社会福祉協議会 1名
安達和重様
- ・新屋敷自治区長 1名
【旧】山口和芳様 → 【新】赤井秀雄様
- ・地域住民代表 1名
斎藤信子様
- ・施設職員 6名 (各係代表)

苦情解決への取り組み

- 【目的】
- ①福祉サービスに対する利用者の満足度を高めること
 - ②苦情を密室化せず、社会性・客観性を確保すること
- 【苦情解決体制】
- 苦情解決責任者 施設長 塚原徳美
苦情解決担当者 生活相談員 山口博幸
- 【社会福祉法人千桜会 苦情解決第三者委員】
入江守夫様、丹藤正明様、澁川和美様、栗田真希様
- 2021年2月~2021年5月末までの苦情件数0件

寄贈・ボランティア御礼

現在、慰問団体及びボランティアの皆様の受け入れは自粛しておりますが、先日花の苗(ざる菊)を更生保護女性会の皆様から頂きました。にいつるホームの中庭には野菜の苗も植えられており、これからの成長を見守りながら秋にはりっばなざる菊を観れるのを楽しみにしたいと思います。更生保護女性会の皆様、ありがとうございました。



編集後記

玄鳥至(つばめきたる)
今年もにいつるホームにつばめが来ました。いつも通り泥と枯草を唾液で固めて巣をかけました。昔からつばめが巣を作ると幸せが訪れるといいます。例年ならば玄関先を汚しお掃除も大変ですが、このコロナ禍にあっては幸運をもたらしてほしいと祈ります。



ショートステイのご案内

にいつるホームでは、空床を利用したショートステイを行っております。美里町在住で要介護認定を受けている方ならご利用可能です。急なお出かけや農繁期など、一時的なお泊りが必要な方は下記連絡先までご連絡ください。



にいつるホーム TEL 78-3717

にいつる ホームだより

編集・発行
特別養護老人ホーム
にいつるホーム
〒969-6402
大沼郡会津美里町
新屋敷字上深田甲1502
2021年6月発行



施設の理念

- ・常に寄り添いあえる家族を目指します。
- ・常に一人ひとりが望む環境づくりを実践します。
- ・常に入居者が行って欲しいことを実践します。



恒例の書道クラブ、



一年前の当誌に綴った内容です。『一部抜粋』
『新型コロナウイルス感染症が世界的拡大を続けています。ご家族と会えず心細いご入居の皆様のみならず、ご家族にも大きな影響が生じていることを痛感しております。日本中が見えない敵との戦いに最善策を模索しながら尽力しております。私たちも日々状況の変化をしっかりと見極めながら、ご入居の皆様をお守りします。同時に職員の健康管理についても新たな基準に沿って、遵守・徹底してまいります。』
年内には落ち着いてほしいと願いながらも一年が過ぎてしまいました。辛抱と努力を続けながらも不安をぬぐえずにいた矢先、会津地方で感染拡大が報じられました。感染対策を万全にしても防ぎきれない状況となりました。身近な人も感染しうる現状になりました。そんな中でようやく希望が見えました。ワクチン接種です。主治医による入居者様へのワクチン接種が今月実施となります。予防の一環とは言え私達の不安は軽減されます。それによって、行うべきことを前向きに取り組みます。何よりも、気持ちが前向きになれます。

不安から
希望へ



そして薔薇は例年通り…



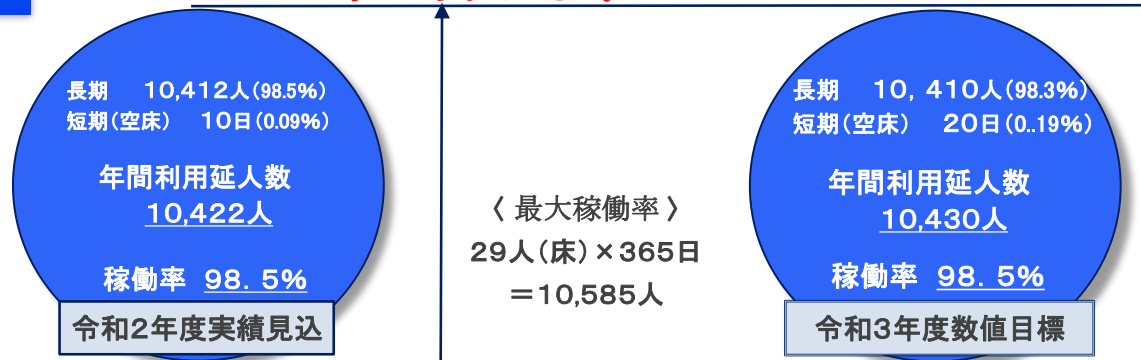
咲いています。



令和3年度事業計画

※ 新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴い、以下の内容は一部、自粛・制限している状況です。その為、大きな変更となる場合があります。予めご了承ください。

数値目標



基本方針

にいつるホームは千桜会の基本理念とする、「つねにまごころとやさしさにあふれるサービスの提供」、そして施設理念である「相手を敬い尊重し、安心安全で穏やかで当たり前の生活の場を作り出すこと」を目指します。地域密着ユニットケアの施設として入居者一人ひとりの毎日の生活のサポート、自己決定を主体とする自立した生活の場を提供し、暮らしの継続を行っていきます。関連事業の連携を密にし、更なる施設運営の努力をして参ります。又、利用者と職員相互に心身の健康管理ができ明るく元気な施設を目指していきます。

運営方針

1、施設運営の取り組み

- 稼働率目標の達成に向け、関係機関との情報共有と連携を密にします。
- 備品や消耗品等のコスト削減に努め、経費の有効活用と業務内容の見直し等を行っていきます。
- 現在の加算取得の維持及び、算定可能な加算を取得していけるよう努力していきます。

2、ユニットケアを見つめ直す

- 入居者の本人の暮らしの継続を支援していきます。
- 24時間シートや施設ケアプランを基に、全職員が同じ視点でサービスが提供出来る様、情報の共有に努めていきます。
- 施設全体で認知症を理解し、入居者の個別ケアの充実を図ります。

3、地域住民や入居者家族、職員との信頼関係の構築

- 各団体・地域ボランティアのご協力を得て施設とのよりよい関係作りに努めていきます。又、地域行事への積極的な参加に加え、頼られる地域の施設となるよう努めていきます。
- 家族と各職員とのコミュニケーションを図る事を密にし、更なる信頼関係を築き施設の理解を深めていきます。

4、人材育成・サービスの質の向上

- 法人、施設内外研修等に積極的に参加しサービスの質の向上に努め、職員一人ひとりの知識や技術の向上を図ります。
- 職員一人ひとりのスキルアップ、モチベーションをあげ、意識改革とサービスの質の向上に努めます。

行事活動

お花見やあやめ見学、敬老会、夕涼み会、秋祭り、クリスマス会、干し柿作り、蕎麦会、新年会、ひなまつり茶会など季節に合わせた行事を予定していますが、コロナ禍の中入居者様が安全に楽しんでいただけるための対策を講じながら対応してまいります。

同様に、地域密着型施設として地元の幼稚園や小中学生との世代間交流事業、慰問やボランティア団体の受け入れも入居者様の安全を優先し今期は中止といたします。

委員会活動

事故防止、身体拘束廃止、感染対策、褥瘡予防、安全、介護力向上、の各委員会に加え、看取りや認知症に関する研修会(動画を含む)を通して、職員個々の知識の研鑽とケアの質の向上に努めます。

にいつるホーム 写真展

お誕生会



お花見



畑作り



2021年2月後半～2021年5月末までのナイスショットをご覧ください。